

9月号

No.3

地域医療だより かせ 奥三河の風

[発行元]新城市地域医療支援センター
電話 0536 (23) 7602

[協 賛]設楽町、東栄町、豊根村
新城医師会

[発行日]平成 20 年 9 月 1 日 (月)

はじめに 新城市健康医療部地域医療支援センター長 鈴木明彦 (新城市民病院副院長兼務)



健康医療部・地域医療支援センター長の鈴木明彦です。この健康医療部は本年度に新設された市の組織で、保健センターを管轄する健康課（以前の健康福祉部より移管）と作手診療所と地域医療支援センターから成ります。さて私の所属するセンターは、へき地医療支援室が所管する休日・夜間診療所（以前の健康課より移管）とこの7月1日に開設した訪問看護ステーションからなります。

これらの組織改編は、地域住民の健康（予防や介護を含む）は行政の責務という市長の政策です。

市民病院のなかで昭和63年に発足した訪問看護室は、訪問看護ステーションと名称を変えて病院組織から独立して開放システムとすることで、限られた医療資源の効果的利用を意図しました。お蔭様で市内の医療施設からの御利用も徐々に増えております。

また “ 一次救急は行政で ” ということから、さらに地域医師会の先生方からの協力を得て、10月より夜間診療所が開設されます。

さて私の本来の職場（病院勤務医）では、地域医療でのマンパワー不足は日本全国各地で深刻であり即効で有効な対策がない現状では、住民の受療行動への啓蒙も必要かと感じています。微力ではありますが地域医療への貢献に努力していきますので、今後ともよろしく願いいたします。

開業医訪問 石川整形外科クリニック 石川 敦院長

勤務医訪問 設楽町つぐ診療所 高木健太郎所長



[診療科目]
整形外科、外科、リウマチ科
リハビリテーション科

豊川市民病院に4年半勤務したのち、バイパス沿いに平成11年11月1日、開業しました。あっという間の9年がたとうとしています。思い返せば、激動の9年間だったと思います。診療報酬の改定が次々と行われ、近隣に多くの医療機関ができました。現在のような地域医療の崩壊は開業時には想像もできませんでした。整形外科として何ができるかということを探しながらやってきました。無床診療所ということで、小手術、創縫合以外の、整形外科医本来の力が発揮できないのは残念ですが、保存的治療で何とか良い結果を出せるように頑張りたいと考えています。最近、関節リウマチの治療が目覚ましい進歩が続いています。メソトレキセートがスタンダード治療となり、関節破壊に至りそうな例は早くから生物学的製剤を使用することにより、悪化を食い止め、軽い関節のびらんは、治癒するとさえいわれています。当院でも、6月より投与を開始し、良い結果が得られています。投与開始前のスクリーニング、副作用発生時などで、内科の先生にはお世話になることがあると思いますのでよろしく願い申し上げます。またそのほかの科の先生方にも、病診連携でいろいろご迷惑をかけるかと思いますが、よろしく願い申し上げます。



設楽町の津具地区は東三河の最北部にあります。診療所は旧津具村が旧設楽町と合併する直前の平成17年9月末に開設されました。

当初非常勤で週2日の医師派遣により運営されてきましたが、今年4月から常勤化され月～金の診療となりました。私も家族を連れて津具に住んでいます。トマトやシクラメン・シイタクなどが津具の特産品で、就農のため街から移り住んだご家族もあり、この土地で一緒にがんばりたいと考えています。津具の人は我慢強いのかあるいは気を使ってくれるのか、今はそれほど時間外や休日の診療依頼は多くありません。しかしいざ深夜に呼ばれるとそれはかなり高い確率で救急搬送や入院対応を必要とする状態となっています。救急受け入れ先の先生から「来るのにそんなに時間がかかるのですか！」と驚かれるのにもいいかげん慣れてきました。一件毎できうる最善の対応をとり、よりよい形で後方病院の先生方に引き継ぎたいものです。津具も地域として生き残るためには越えていかなければならない壁がいくつもあるようです。現在少しずつよい形で診療所が住民に受け入れられている手ごたえを感じており、地域のため診療所も住民の方々と一緒にがんばっていきたいと考えていますので、在宅医療など津具でできることは何でもお申し付けいただきたいと思います。今後ともどうぞよろしく願いいたします。

[石川整形外科クリニック]



受付

診療時間	月	火	水	木	金	土
9:00~12:00	○	○	○	○	○	○
16:00~19:00	○	○	/	○	○	/

休診日:水曜日・土曜日の午後、日曜日、祝日



待合室



石川整形外科クリニック

[設楽町つぐ診療所]



診療時間	月	火	水	木	金
9:00~12:00	○	○	○	○	○
15:00~17:00	○	△	△	○	△

休診日:土曜日、日曜日、祝日、年末年始の休日

△は往診、保健事業、予防接種等を優先する時間帯



待合室



設楽町つぐ診療所

訪問看護ステーション情報

皆様のご支援のもとステーションとしての第1歩を踏み出し2ヶ月が過ぎました。現在少しずつ業務内容の変化にも慣れ、業務の拡大を目指しているところです。地域の医療機関の先生方や、地域の皆様の暖かいお言葉やご支援をいただき、スタッフ同意欲をもって取り組んでいるところです。まだまだ至らぬところがありますが、ご理解とご指導をよろしくお願いいたします。ここで、事務を担当している職員を紹介させていただきます。

日本医療事務センターの白井敦子です。1年程前から新城市民病院のレセプト点検業務をしていましたが、このたび訪問看護ステーションの事務を担当させていただくことになりました。看護師スタッフが常に利用者様の立場に立って考え、「利用者様に満足していただけるサービスの提供」をモットーに、チームワークにより敏速に対応している姿を見て、私も日々勉強し事務面でサポートしていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

愛知県へき地医療研修会情報

愛知県へき地医療支援機構が主催する「平成20年度愛知県へき地医療研修会」が、8月23日~24日岡崎市民休養施設桑谷山荘で開催されました。

今回で7回目を迎えるということで、参加者は、医師24名、医学生8名、看護師17名、保健師5名、保健師学生9名など76名でありました。研修会は、へき地医療・地域医療について、講義形式、グループ形式、講演形式により参加者に配慮した形で進められました。これからの地域医療を担う医学生、保健師学生が一同に会し、熱く語る場はあまりないと思います。この研修会をここまでぞだてた関係者の皆様に敬意を表するとともに、益々発展することを祈念するものです。

